

会議録(要旨)

福祉部子育て支援室

会議の名称		第2回 さだ保育所民営化にかかる懇談会	
開催日時		平成19年2月16日(金) 18時30分～20時45分	
開催場所		枚方市役所 別館4階 特別会議室	公開の可否 可
担当		福祉部子育て支援室	傍聴者数 10人
出席者	委員	安藤委員(座長) 流石委員、竹安委員、高畑委員、友田委員、貞利委員、亀井委員、藤本委員、嶋委員、稲岡委員、多田委員、並木委員	
	市	森下理事、藤澤福祉部次長、橘子育て支援室室長、八尾子育て支援室課長、樋本子育て支援室課長、式田子育て支援室課長、重村福祉部スタッフマネージャー、金澤福祉部スタッフマネージャー、岡村子育て支援室グループリーダー、杉浦子育て支援室グループリーダー	
案件		蹉跎保育所の移転及び民営化について	
資料		資料1 楽寿荘の存続及び蹉跎保育所の移転に関する要望 資料2 懇談会についてのアンケート 集計 資料3 楽寿荘周辺地図 資料4 要望書(蹉跎保育所保護者会・蹉跎保育所建て替え委員会) 資料5 蹉跎保育所の民営化による効果額(想定)	
<p>(1) 開 会</p> <p>(2) 懇 談 「蹉跎保育所の移転及び民営化について」</p> <p>(3) 閉 会</p> <p>○ 事務局から前回の懇談会の質疑等についての補足説明</p> <p>事務局 公立保育所運営費の一般財源化に対し、地方交付税で財源保障されているはずであるとの意見があったので、財政課から聞いた見解を説明する。</p> <p>平成16年度の公立保育所運営費負担金一般財源化に伴い、地方交付税の算定に用いる財政需要額に影響があった。その内容は、全国一律の措置であり、同年度における地方交付税は、前年度から1兆円以上も減少した。本市の平成16年度の地方交付税の交付額は、前年度から8億円減少した。さらに、地方交付税は、いわゆる「特定財源」ではなく「一般財源」であることから、補助金と同じように保育所運営にかかる経費の財源として考えることができない。これらのことから、運営費の一般財源化をもって、地方交付税が現実増額されたとは言えない状況である。</p> <p>また、「公立保育所の整備には起債が利用でき、起債償還時には、地方交付税により100%措置されているはずである。」との意見について、公立保育所を整備する場合、制度として「社会福祉施設整備事業債」が活用できる。本事業債は、対象事業費の80%をまかなうことができるが、翌年度以降に生じる公債費(元利償還金)については、地方交付税による財政措置はない。なお、平成17年度については、公立保育所もハード交付金の交付対象であったが、平成18年度から公立保育所の施設整備費が一般財源化された。</p> <p>宇山保育所の民営化にかかる訴訟の評価について、本市と他の市がそれほど違ったやり方をしていないという意見があったが、宇山保育所の民営化を進めるにあたり、法人選考決定や廃止条例議決、保護者説明会開催などの流れについては、大東市や横浜市と同様、実施した。しかし、説明会の回数や保護者への個別対応など細部については違いがあり、そうした違いが判決の違いになったと認識している。裁判所の判決は、それぞれ、市の対応について事実認定を行い判断したものであるから、そこから導き出された結果が違うとい</p>			

うことは、事実には違いがある。ただ、宇山の対応が100点満点であるとは思っていないので、蹉跎保育所の民営化にあたってはより丁寧に進めていきたいと考えており、方針決定前にこうした場も設けて意見を聞き、保護者への説明や意見交換についても、よりきめ細かく行っていく考えである。また、前回問題となった転所への対応も、保護者と相談しながら行っていく考えである。

保護者への説明会については、保護者の仕事の形態が多様な中で、全体に説明が行き渡るように機会をつくるべきであるとの意見については、14日に保護者会への説明会をさせていただき、15世帯の参加があり、いろいろと意見交換を行った。今後もできるだけ多くの機会をつくり、保護者の方全員と話ができるようにしたいと考えている。

○ 配布資料説明

委員 国は、三位一体改革により一般財源化した分の財源は確保しているというっており、子育て支援室が財政当局に対し、必要な予算を確保するということだと思う。

私が入手した資料には、「教育福祉施設等整備事業債」は起債充当率100%、元利償還金については事業費補正で交付税措置すると書かれている。市の説明と食い違っている。

裁判に関しては、確かにその自治体の民営化に関する審理がなされるので、市の説明は理解できるが、民営化によって被害を受けるのは子ども。その子どもの代わりに保護者が訴えた。そういう保護者がいたということを記憶に留めておいていただきたい。

座長 これから皆さんに、懇談会ですのでご意見を自由に述べていただくということで始める。

今回の市の方針案については、前回説明があったとおり、一つは楽寿荘への移転。もう一つは民営化という二つのポイントがあったかと思う。そこでまず、蹉跎保育所の楽寿荘への移転ということについて、皆さんからご意見を伺っていききたい。

委員 楽寿荘の移転については、保護者の負担がどうなるのかが一番のポイント。距離的には400mであるが、急な坂になっている。安全確保はどうなるのか。

また、楽寿荘との併設になるが、楽寿荘利用者が、保育所の移転についてどう思っているのか。まず聞かないといけないのではないか。

それから、今は保育所には駐車場が欠かせなくなっている。移転先の保育所に駐車場が確保されるのか。その場合、専用か。楽寿荘と共用か。

歩道に関しても、通行の安全を確保できる整備をする必要があると思う。

委員 楽寿荘は、歩いて行くには非常に急な上り坂で、荷物を持って子どもを連れて歩くのは、今と比べると負担が増えるのではないか。山手の方に行くということに関する不安は大きいと思う。楽寿荘利用者には、保育所が移転してくるという話は知らされていないのであれば、利用者にも知らせるべきである。

私は、公立保育所の民営化には反対ですから、保護者が要望している現地での公設公営での建て替えを望む。

委員 楽寿荘までの道は、安全だが、すごく細くて階段も多い。その階段を、荷物を持って小さい子の手を引いて行くというのを考えると、とてもではないが行けない。また、楽寿荘へ行く人だけでなく、坂の上にある蹉跎小学校や市立高校の生徒も通る。お迎えの時間が、高校生と重なれば、狭い道なので大きい荷物を持ってすれ違うことは不可能。このあたりは静かだが、反面、空き巣なども多い。安全面で不安を感じる。

委員 もし、移転するならば歩道の整備、安全確保や保護者の負担や不安について、十分話し合ってもらいたい。

委員 移転しても地域と密着した形で在宅支援を行ってもらいたいというのが、第一の希望。民間になるかどうかかわからないが、スクールバスなど負担が高い方への配慮が少しでもあればと思う。

委員 使い勝手の良さでいうと移転によって、低下するかもしれない。楽寿荘にできれば、環境は今よりは良くなる。子どもを中心に据えた上で考えれば、環境はこちらの方がいい。高齢者との交流など新たな効果もあると思う。

民営化については、これを受けていけるような立派な保育園の選定が必要になるし、受ける側もそのように努力をしなければならない。民営化は、慎重に、しっかり受け止めた上でやっていかないといけない。

委員 保護者の方の心配や負担増、今のところの利便性などはわかるが、今の場所が商業地なのでその弊害もあり、両者を秤にかけられずに困っている。子どもを中心に考えたときにどちらがいいのか。保護者も決断する部分があると思う。子どもにとってどれが望ましいかを大人が公平に冷静に考えるべきである。

委員 今のところは、他の保育所と比べても、子どもの遊び場としては、狭すぎるのではないかと。保育所のまわりは自転車置き場になっており、正門から入れず、勝手口から入っているような状況。環境面を考えると、楽寿荘に行くと、安全、安心なところで子どもたちが伸び伸びできることを商店も近隣住民も願っている。今のところは、車でこられる人は駐車禁止の場所に停めて園児を連れてくるため車が停滞し、周辺の住民、近くに医院もあり、なんとかしろと苦情が出ている。急な坂だからだめというのではなく、現地も見て、話し合いをしながら、送迎バスや上りやすくする工夫などを検討して考えていけないか。

委員 楽寿荘は、環境としては最高の場所。今の保育所は狭い。自転車で埋まっているということであれば、教育環境としては良くない。思い切って環境のよい所に行くというのが、教育の面から言えば当然ではないか。道が狭いとか坂があるとか、これは市の方で考えればいいと思う。特に、駐車場を整備して、車で行けるようにすればいいのではないかと。

委員 楽寿荘は、桜がきれい環境はいい。保育所に子どもを預けた経験から、近くにあることは非常にいいのはそのとおりで、駅が近いのも出勤される方には便利ということもよくわかる。そういうことを考えると、なかなか判断がつきにくいですが、地域の全体的な利益というものも含めて、話し合いの中で方向性を出すことになると思う。

委員 移転によって全員が不便になるということではなく、一長一短はある。そこは、いろいろ市と相談しながら考えるということはどうなのか。環境面では、自然も豊かだということなので、親御さんにはご苦労もあるかもしれないが、子どもにとってはお散歩へ行くのも近いし、そういう意味では保育が充実する面もあるのではないかと。また、子どもたちとそこのお年寄りが交流を持つことが今の社会的状況の中では勉強になるし、そのあたりも総合的に見て、知恵を出して移転を考えたらと思う。

座長 ひととおり、移転についてご意見をお伺いした。それぞれの立場で、ご意見が出ていたと思う。次は、民営化の件に入らせていただきたい。

委員 民営化については、保護者に不安のないようにどう対応するのかというのが課題になる。保育は、保護者の皆さんとともに子どもを真ん中に据えてどう保育していくのか。このへんが一番大きなポイントになる。私立の場合、いろんなカラーを個々に持っている部分があるので、選定に対しても慎重であるべきで、受ける側も保護者の不安などをよく理解した上で、受けていかなければならず、共に努力する必要がある。

委員 保育所の保護者でさえ養育力が低下しているという話の中で、在宅におられる方も含め、育児に対して不安な時代になっていると思う。民間になったとしても、そういう部分への配慮、公も民も地域もみんなであつたあたりを考えられるような取組みをしてもらいたい。民営化になっても、あとあとよかったと思えることが望みである。

委員 在宅支援を主任児童委員、民生委員としてやっている立場から言うと、公立保育所がなくなるというのは大変残念。公立の果たしている役割は、通所している子どもだけでなく、家で子育てに不安を抱えている在宅の人たちの支援もやっている。保健センターと保育所、民生委員が一体になって、そういうお母さんに声をかけながら家から出てもらい、園庭開放などにつなげていく取組みをしている。地域のお子さんの育児に民間保育所も今懸命に力を入れていると思うが、公立とは地域とのネットワークの差で違いがある。私立は独自で努力されている。我々も民間にまだ入りきれていないという点で、責任はある。公立保育所は、小学校に上がるときにも連携ができて、保育所に通っているお子さんに対しても我々の手が入りやすい。公立保育所だけではなく、民間もそうになっていただきたい。もし、民間に移るのであればそういう良さを決して失わないという方向でないと、枚方市は今まで何をしてきたのかと思う。

委員 保育内容に公私の差がないということにこだわっている。公私の差は、私はあると思う。違いがあるということぐらいは書けないのか。私の子は私立、公立両方経験している。公立は先生が多いという中で受けるサービスがあって、私立は厳しい状態の中でやりくりしている状況がある。私立は私立でがんばってきたということも私は見てきた。差がないとか同一というのは間違いだということをはっきりと明らかにしないと、子どもを中心に据えた話ができない。保育内容が同一だと書かれると、引き受ける民間園も気の毒な気がする。もし、民営化されるとしても、このへんが変わってくる、違うということ公表した上で、子どもたちにとってよりよい保育をやっていこうという話になるようにしてもらいたい。お金がないということを受けた止めた上で民間にしないと仕方がないのか、地域の事情を考えて移転しかないのかとかは、違うことを認めて初めてそういうことを話し合えると思う。今、お金がないのならこの方法しかないとか、お金のことだけ説得力のある形で資料を出しているが、現実を全て見せてもらって、そうするしかないということが初めて考えていけるのではないかと。

委員 違うことが本当であればはっきりしたもの出してもらって、説明を聞きたい。採算が取れて、うまくいくのであれば民営化でもいいと思うが、そうでなければよく考え、話し合いもしてやったほうがいいと思う。結論として、いいか悪いかはやってみないとわからない。

委員 在園児の保護者としては、先生が全員代わる不安が大きい。障害をもっている子どもが年々増え、相手に気持ちを伝えることが苦手な子どもや言葉にするのが苦手な子どもが多い。今の先生たちがいなくなることで子どもたちの心の負担というのは誰にもわからない。そういうことを考えると今の先生たちに保育してもらうことが保護者の希望であり、民営化には反対する声が多い。

私自身は、今までの仕組みや先生が代わることの不安はやはり大きい。子どもたちは全員の先生の名前を覚えている。その先生が代わってしまうことによって、また一から関係を築かないといけない。親自身も子どもの状況を先生から聞いたりする。そういった関係も一からつくらないといけない。小さいうちは、順応力が十分に備わっていないので、そういった面を重要視していただきたい。

お金のことはよくわからないが、お金をとるか子どもをとるかだと思う。お金をかけたからといっていい子が育つわけではないけれども、やはり子どもを育てるにはお金がかかるということを考えていただき、十分に検討してもらいたい。現時点では、民営化については絶対反対という保護者の意見を受けてきているので、条件云々ではない。公設公営のもと、安心して預けられる保育所を継続してもらいたい。

委員 今から5～6年前、枚方市が単年度赤字、累積赤字になり、行財政改革を一生懸命やった。一番効いたのが、職員を減らすこと。人件費を減らして、民間にアウトソーシングする。これが効いて、赤字から今は黒字になっているが、安心できる状況ではない。

枚方市はかつて「福祉の枚方」として全国で有名だった。例えば、介護保険に入る前に、全国で初めて夜間ヘルパー派遣をやられた。どこに行ってもそのことをいわれるので、枚方市民として誇りに感じた。枚方の福祉は独自のものが積み上げられてきた。介護保険が入り、支援費制度、最近の自立支援法等で障害福祉もそうだが、どんどん特徴が無くなってきている。平準化されている。もっと、枚方の福祉をつくらなければならない。保育所に重点を置いて、予算をつぎ込んで、少なくとも待機児を無くす。定員を守りながら、しかも待機児がない。そうすれば、安心して預けられる。保育料も安くする。日本で一番出生率の高いまち、鹿児島県の和泊町は出生率が2.5。保育所はいつでも入れるし、月2万円で預けられる。安心して働ける。そういうことで出生率が高くなっている。民営化と並行して、待機児を0にする計画を優先して立てるべきだ。

19時以降、夜間、休日いつでも預かってもらえるという枚方にしなければいけない。そのために、民営化を叫んでいる。限られた財源で、福祉の特に保育については、全国一の安くて、いつでも入れて、夜間も預けられる保育所をつくってほしいということで、民営化を主張してきている。

今回、皆様のご意見をよく聴きながら障害をできるだけ少なくし、民営化にこぎつけていただきたいというというのが、私の意見。不安の大きい部分は、例えば、卒園するまでそ

こに通える。少し時差はあるが、それくらいの無駄はやってもいいのではないかと。いろいろ工夫すればいい。枚方に住んでいる方が働きに出て、子どもを預け、安心できるという意味でコンセンサスをつくっていくことが大事だと思うので、そういう観点で市も取り組んでいただきたい。

委員 子どもに対する影響というのは、3月31日まで通い、一緒に遊んでいた先生が、翌日知らない人に代わる。それが民営化の初めの現象。今回の場合は、翌日、行く場所も代わるから、この案でいくと、二重にストレスを発生させる可能性があると思っている。

それから、被害は子どもだけではなく、保育士や保護者もそうである。保育士は今までやっていた保育を全否定されるわけですから非常にショックを受けると思う。保護者も今まで通って信頼関係を始めから築かないといけないという点で行けば、子ども、保育士、保護者いろいろな人たちに影響が出ると思っている。

そういう点で、私は民営化には反対するし、公立保育所がその自治体の保育水準をつくっていると思っている。これから、早期教育、ピアノ、スイミング、体操や英会話などいろんなことが保育所でもされていく。今年の4月からになると思うが、認定こども園という制度がスタートする。認定を受ければ、幼稚園や認可外保育施設に保育に欠ける子ども、本来であれば保育所に通う子どもが認定こども園に制度に基づいて通うことになる。そうなれば、幼稚園、保育園、認可外保育施設と認定を受けるところがどんどん広がっていき、多様化が進む。そういう点ではこれまでの保育の最低基準が保育内容の手本、公立保育所が全ていいとは私も思わない。改善すべき点はあると思うが、規範になる公立保育所はこれからより必要ではないかと思っている。

それから公立保育所というのは、保育に関する実践を行ってきており、非常に長い歴史を持ち、蓄積した知識や経験は大きいと思う。しかも、公的機関ということになるから、自治体の施策をストレートに実現することが可能。市の施策に反映できると思っている。枚方市は1対3ぐらいで公立が非常に少ない。そういう点ではこれ以上公立保育所を減らすというのは、地域の自治体の基準をつくる保育所の数としては少ないと思う。

公立保育所の民営化は、お金に関わってくる。お金に関しては、すぐ資料が出てくるけれど保育の中身に関しては、なかなか文字にしてもわかりにくいという点がある。お金の使い方については、いろんな無駄なハコモノをつくるよりも、子どもたちの福祉や老人介護などに使うことを、「子育てするなら枚方で」ということで私は枚方に住みましたから、そういうことをこれからも続けられるよう努力をしていただきたい。7時から19時までの保育をしたのも全国的にも初めてやったし、病児保育室も全国で初めてです。そういった福祉の先鞭をつけてきた枚方市ですから、子どもたちを悲しませることなく、保育所をつくるのであれば私立でも公立でも構わないけど、子どもたちが健やかに育てられる環境をつくっていただきたいと考えている。

委員 世間でよく民営化できるものは民営化しようという話がありますが、これは経営の効率という、そういう観点から出ていると思いますけど、保育所の民営化に関してそれがあてはまるのかどうかは、この数字的なものを見ていると相当の差がある。この原因はなにか、いろんな経費はそんなに変わらないと思うので、人件費の差であると。公立はわりあい年齢層が高い、私立は若い方がやっている。若い方は人件費が安い。財源の関係からするとメリットが高い。企業の経営からすると、非常に努力している。がんばって人件費を抑えて、何とかメリットを出している。ただ、民間企業は基本的に利益を出していかないといけない。成り立つかどうかは原点。その観点からすると、本当に成り立つのかということですが、私立の保育所はたくさんあって、いろんな形で努力をされていると思った。経済効果は数字だけみていると非常に大きいので、この金をどう使うのか。保育所を増やすことに使うということであれば、一考する余地があると思う。民営化そのものが、いいのか悪いのかということ、これからもう少し先でないと結論が出ないと思う。全体的な市の考え方の中で、方向性を出していくことになるのではないかと。

委員 民営化については、慎重に考えなければいけないと思う。まず、宇山保育所の民営化についての総括がなされているのか。例えば、お金の面については、この間、効果額というのを出しているが、保護者のアンケートをとられたのか、行事は前と同じなのか、遠足につい

でも前と同じ形態なのか。先生が全部代わったのか、民営化になってどう変わったのか、お金の面、制服、ピアノ、早期教育、スイミング。このあたりのことがわからない。検証してほしい。メリットである人件費の削減。保育者の数。これらのことをきっちりと検証しないと民営化は OK というにならない。建設費のこと。楽寿荘周辺の道路整備などもしないといけない。そういったこともすると効果があるのか。自治会の要望の周辺整備事業の中に保育所も組み入れることも可能ではないか。

委員 蹠蹠保育所は0歳児保育をしていないのであれば、地域の0歳児はどうしているのか。0歳は民間で1歳になったら蹠蹠へというケースはあるのか。

市 1歳になれば蹠蹠へ転所するというケースは少ない。

委員 公立の果たしてきた役割が重いということはわかるが、民間も含めて枚方の保育所全体のネットワークの中で子育て支援を進めていく必要がある。親のこと、地域との関係、保育士、一番大切な子ども、それぞれの人が必要としている保育を受けることには、民間も含めて考えるべきである。友好的に歩み寄って考えていただきたい。

委員 関わる人間が最善を尽くすことによって、子どもが大きくなっていく。公私の差が無いという認識で民営化を進めようとするなら裁判になったりする。差があるということ、公立は公立の、民間にはそれぞれのよさを認めた上で進めるべきものである。裁判はお互いに不本意である。裁判を起こさせない努力をしてほしい。

委員 公私の差をどうとらえるのかということだと思う。公私でそれぞれ特色のある保育をしているが、その内容はどちらも保育指針に基づいて行われており、格差というものはないというとならぬ。

市 2日間という限られた時間で、それぞれの立場から貴重なご意見や提案をいただいたことに感謝している。皆様のご意見をお伺いして、蹠蹠保育所の移転や民営化にあたっては、子どもを中心に据えた考えを基本に進めていくことを改めて認識させていただいた。また、保護者の方の理解を得るためには、その都度丁寧な説明や話し合いを行い、保護者の方の不安の解消を図っていく。民営化は慎重に行わなければならない。宇山の民営化は、市として最大の努力をし、間違っていない。裁判は保障された権利の行使を行われたと理解している。しかし、宇山の時よりも丁寧にすべきと考えている。宇山の時も保育の引継ぎを行い、障害児保育やアレルギー対応の継続や公立での行事を継続している。保護者にアンケートも取っており、宇山の民営化の総括をしっかりと行った上で進めていくべきと考えている。

今回の市の考え方については、議会にも示させていただき、議会の意見も聴きながら、さらに補強した上で今年度中に市の方針として確定していく予定である。子育て支援の充実、待ったなしの課題。国の三位一体の改革により地方交付税が削減され、市の一般財源をいかに有効に使うかが求められている。民営化により削減した財源を少子化や子育て支援に有効に使いたい。市の職員削減などの構造改革も行いながら、民営化も促進していく。地方の時代、市民は高福祉、高負担を求めている。税負担は少なく、福祉の水準は維持される持続可能な制度の構築が求められている。枚方市は中核市を志向しており、今後市の責任はますます増えていく。

懇談会は、これで終わらせていただくが、今後の状況の中で、再度お願いすることもあるかもしれないので、その時はよろしくお願ひしたい。

座長 懇談会のため、ここで皆さんの意見をまとめるということにはならないので、子どもを中心に、子どもが自立していくために何を保障していくか。子どもにとって重要なことは何か。不安解消をするためには何をすべきか、市はよく考えて進めてもらいたい。